

一宮町総合戦略アンケート調査結果（速報版）

(1)一宮町が行っている取組について

①満足度

- ・ 全ての取組で「どちらかといえば満足」の比率が、「どちらかといえば不満」の比率を下回っている。
- ・ 各取組の満足度（※）をみると、相対的に満足度が高い取組は、「男女共同参画」「福祉・健康づくり」「出産・子育て」「農林水産業」「コミュニティ」の順となっている。
- ・ 一方、満足度が低い取組は、「商工業」「医療」「広域連携」「住環境・衛生」「消防・救急」の順となっている。

②重要度

- ・ 全ての取組で「どちらかといえば重要」の比率が、「どちらかといえば重要でない」の比率を上回っている。
- ・ 各取組の重要度（※）をみると、相対的に重要度が高い取組は、「医療」「消防・救急」「出産・子育て」「教育」「防犯・消費生活」の順となっている。
- ・ 一方、重要度が低い取組は、「男女共同参画」「コミュニティ」「文化・スポーツ」「観光」「農林水産業」の順となっている。

③対応ニーズが高い取組

- ・ 満足度と重要度を相関分析したところ、「満足度」が低く「重要度」が高い「**町民からの対応ニーズが高い取組**」は「**医療**」「**消防・救急**」「**道路・河川・海岸**」「**防犯・消費生活**」「**住環境・衛生**」となっている。

（※）満足度は「どちらかといえば満足」から「どちらかといえば不満」、重要度は「どちらかといえば重要」から「どちらかといえば重要でない」までの3段階の回答を3～1に重みを付けて行い、「わからない」および「無回答」を除く回答件数で除して点数化

(2)一宮町について

①一宮町への愛着・誇り

- ・ 一宮町への愛着・誇りは、「少しは感じている」が44.9%と最も多く、「強く感じている」の29.2%を加えると、**約7割（74.1%）が「愛着や誇りを感じている」と回答。**
- ・ 愛着・誇りを感じる理由は「生活環境が自分に合っているから」が47.3%と最も多い。
- ・ 愛着・誇りを感じない理由は「通勤、買い物など生活が不便だから」が46.2%と最も多い。

②一宮町の住みやすさ

- ・ 「まあまあ住みやすい」が52.5%と最も多く、「とても住みやすい」の15.1%を加えると、**約7割（67.6%）が「住みやすい」と回答。**

③定住意向

- ・ 「ずっと住み続けたい」が37.0%と最も多く、「当分の間は住み続けたい」の28.2%を加えると、**約7割（65.2%）が「住み続けたい」と回答。**

④一宮町の強み

- ・ 「**海と緑が作る豊かな自然環境**」が**64.3%**と最も多く、次いで「サーフィンができる（45.6%）」「都心とのアクセス利便性（42.6%）」の順となっている。

⑤一宮町の弱み・課題

- ・ 「**病院や医療体制の充実**」が**40.7%**と最も多く、次いで「買い物等の消費生活の利便性向上（39.7%）」「中心市街地（駅周辺）の活性化（34.8%）」の順となっている。

⑥将来の一宮町にふさわしいキーワード

- ・ 「**住みやすい・快適**」が**54.1%**と最も多く、次いで「海（40.7%）」「サーフィン（32.8%）」「安全・安心（22.0%）」「健やか・元気（18.4%）」「緑（18.4%）」の順となっている。

調査目的	一宮町民を対象に、現行の総合計画の各施策の評価や町の強み・課題や望む未来等について調査し、今回作成する新たな総合戦略における将来像や施策の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的として実施。
調査期間	令和3年7月8日（木）～8月3日（火）
回収結果	配布数1,000件（うち有効回答305件、有効回答率30.5%）

(3)一宮町の町政（まちづくり）について

①町政への関心

- ・ 「まあまあ関心がある」が33.1%と最も多く、「関心がある（24.9%）」と「どちらかといえば関心がある（23.0%）」を加えると、**約8割（81.0%）が「関心がある」と回答。**

②町政の情報入手先

- ・ 「**町の広報誌（広報いちのみや等）**」が**63.6%**と最も多く、次いで「回覧板（44.3%）」「知人・友人・家族（34.1%）」の順となっている。

③まちづくりへの町民参加意向

- ・ 「分野によっては参加したい」が43.9%と最も多く、「ぜひ参加したい」の4.3%を加えると、**5割（48.2%）が「参加したい」と回答。**
- ・ 参加したい活動は「環境美化活動・自然保護活動」が41.5%と最も多い。

(4)一宮町の今後の取組について

①土地利用

- ・ 今後の土地利用のあり方として重要だと思うことは、「**海岸・河川・山林など水と緑の保全**」が**27.2%**と最も多く、次いで「公園や緑地の整備（23.9%）」「商業施設の誘導（22.3%）」「道路の整備（22.3%）」の順となっている。

②防災・防犯対策

- ・ 防災・防犯対策のために力を入れるべき施策は「**避難所および一時避難所の充実**」が**26.6%**と最も多く、次いで「災害時用の食糧や資材などの備蓄（25.6%）」「防犯灯、街路灯などの整備（24.9%）」の順となっている。

③自然環境・住環境整備

- ・ 自然環境や景観を守るために重要な取組は「**森林や丘陵を適正に管理し自然環境を良好に保つ**」が**50.2%**と最も多く、次いで「田畑等の農地を残し田園風景を守る（31.8%）」の順となっている。

④人口減少対策

- ・ 「**通勤電車や有料道路など交通の利便性の確保**」が**42.0%**と最も多く、次いで「産科、小児科など医療機関の充実（34.1%）」「産業振興・就業支援・地元雇用の拡大（32.8%）」の順となっている。

⑤子育て環境整備

- ・ 子育てしやすい環境を整えるために力を入れるべき施策は「**子ども医療費の助成**」が**49.2%**と最も多く、次いで「学童保育や就学前教育の充実（42.3%）」「いじめの防止や不登校対応などの徹底（33.1%）」の順となっている。

⑥移住定住促進

- ・ 「**車がなくても生活できる町内交通手段の提供**」が**45.2%**と最も多く、次いで「移住者への就職支援（34.1%）」「一宮町の移住者向けPR（19.3%）」の順となっている。

⑦雇用促進

- ・ 「**駅周辺や商店街など中心部の活性化**」が**35.4%**と最も多く、次いで「起業や創業の支援（33.1%）」「リモート環境の整備によるテレワーク労働者の受入促進（26.6%）」の順となっている。

(5)地域活性化に向けた取組について

①サーフォノミクスの効果

- ・ 「**移住者の増加・住宅の増加**」が**41.0%**と最も多く、次いで「一宮町の知名度向上（29.8%）」「サーファーの増加・リピート率の向上（29.2%）」の順となっている。

②重点的に取り組むべき分野

- ・ 地域活性化のために特に重点的に取り組むべき分野は「**医療・福祉**」が**32.1%**と最も多く、次いで「交通インフラ整備（29.8%）」「出産・子育て・教育（25.6%）」の順となっている。